

## 南インドにおけるインド下院議員選挙(総選挙)について

デリーデスク 岩瀬 雄一

### 1 はじめに

世界最大の民主主義国家と言われているインドでは、5年に1度行われる総選挙(6月4日開票)も世界最大規模であり、日本を含む海外からもその動向が注目されています。

有権者は約9億7,000万人であり国土面積も広い為、投票日は地域毎に日程が異なります。日本のニュースでも紹介があったように、ジャングルや山岳地帯まで選挙スタッフが出向くなど一大イベントとなっています。また、投票は文字が読めない人も多いので電子機器を使い、各政党のシンボルマークと候補者の名前が付いたボタンを押す仕組みが採用されています。今回は日本からも注目されている南インド2州での選挙についてご案内致します。

### 2 タミルナドゥ州

インド南部に位置するタミルナドゥ州(州都チェンナイ)は、日系企業、特に製造業の進出が盛んな南インドを代表する州です。ここタミルナドゥ州を含む南インドは北インドのアーリア系とは異なるドラビダ系民族が中心となります。その為、北インドで話されるヒンディー語はほとんど通じず、タミルナドゥ州では州公用語のタミル語が中心となる独自の文化を持った人々が暮らしています。



上: インド人民党のヒンディー語ポスター  
下: ドラビダ進歩連盟のタミル語ポスター  
(Times of Indiaより)

その様な背景もあり、タミルナドゥ州では2014年に就任したモディ首相が率いる政権与党のインド人民党(BJP)ではなく地域政党が州の政権を担っています。2021年以来ドラビダ進歩連盟(DMK)が州政権与党(州首相M.K. スターリン氏)であり、今回の選挙では国民会議派(INC)を中心とするインド国家開発

包括同盟(INDIA)の一員として選挙戦を行いました。結果としてタミルナドゥ州ではINDIAが全議席(39議席)を獲得し完勝しました。タミルナドゥ州の政権与党であるDMKは、引き続き経済重視の政策を取っていく為、日本を含む各国からの投資は今後も増えると予測されます。

ただ、今回の選挙戦ではモディ首相自らが積極的にタミルナドゥ州を訪れたりするなど、これまでに無いPR活動を行ってきました。有識者の間では2026年の州議会選挙を見据えた動きと捉えられています。地域政党が強いタミルナドゥ州でBJPがもし議席を獲得する事が出来れば、大きな転機となるかもしれません。

### 3 アンドラプラデシュ州

アンドラプラデシュ州(AP州)はインド南東部に位置するテルグ語圏の州ですが、2014年の6月に、これまで州都であったハイデラバードを含むテランガナ地域が分離し、テランガナ州として別れる形になりました。



アンドラ・プラデシュ州の位置  
(Wikipediaより)

この分離により経済の中心地であった州都ハイデラバードがテランガナ州に属する事となり(2024年まで共同運用の州都)、経済的に苦しい状況が続いています。経済や教育レベルにおいては、南インド諸州は北インド地域をリードしている面もありますが、ここAP州は上記の分離以降は財政赤字が続いています。その要因としては州



2014年に分離したハイデラバード  
(Telangana Todayより)

資産の明確な決定が無い事、州都が未定、ハイデラバードを失うことによる経済的損失等が挙げられます。なお州都に関しては漸く、アマラヴァティをAP州の州都とする事が決定されました。

さて、そのAP州ですが総選挙前はジャガン・モハン・レッディ首相が率いるYSR कांग्रेस(YSRCP)が政権与党でした。YSRCPは農家や貧困層向けの社会福祉を重視する為、経済面への予算割当に関しては消極的でした。

ただ今回の総選挙の結果、ナラ・チャンドラバブ・ナイドゥ氏率いるテルグ・デーサム党(TDP)が勝利し、州政権が交代しました。

TDPは2019年まで与党だったので州政権に返り咲いた形となります。TDPは経済重視の方針を取り、雇用創出や外国企業誘致等に積極的な姿勢を見せています。AP州南部には日系企業も多く入るスリシティ工業団地もある為、今後の動向が注目されています。

但し、州の熟練労働力の不足や電力供給を含むインフラ面、進出した企業へのインセンティブに関して等の問題を如何に解決出来るかも今後の課題となります。

今回はタミルナドゥ州とアンドラプラデシュ州における選挙と今後の動向についてご説明させて頂きました。両州共、まだまだ外資の進出が見込まれる為、一層の注目を集めると予想されます。

ひょうご海外ビジネスセンターは、世界10カ所に海外展開現地相談窓口として「ひょうご国際ビジネスサポートデスク」を設置しています。  
本通信は、毎月1回、各デスクから寄せられる現地トピックスを順にお届けするものです。